

恒温磁気攪拌反応浴 マグネチックスターラー

商品番号: JL11



前書き

0～100℃の温度制御、0.01℃の分解能、プログラム可能な安全保護機能、急速冷却、外部循環、調整可能な磁気攪拌機能を備えた恒温磁気攪拌反応浴。研究所、材料研究、プロセス開発、電池化学、粉体処理、セラミックス、および精密な熱実験に最適です。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
電池材料スラリーおよび前駆体研究	電解液関連溶液、前駆体混合物、またはその他の小ロット研究媒体を磁気攪拌しながら、制御された熱環境を維持します。	温度制御と攪拌を1つのセットアップに統合し、容器周辺の機器を減らし、プロセスの再現性を向上させます。
先端材料合成	機能性材料や実験用配合物の溶解、沈殿、分散、反応開発のための温度制御をサポートします。	高精度な表示分解能とソフトウェアによる温度補正により、熱条件のより明確な制御が可能です。
粉末冶金およびセラミックス加工	粉末またはセラミックス加工工程の前に使用されるバインダー、添加剤、懸濁液、および化学調製媒体をコンディショニングします。	安定した混合温度により、より一貫した材料調製条件を維持できます。
化学反応開発	少なくとも100 mLの反応容器内で、加熱または冷却と継続的な磁気攪拌を必要とする実験室反応を行います。	無段階速度調整とプログラム可能なタイマーにより、再現性のある試験手順を簡素化します。
学術および教育用実験室	温度依存の反応挙動、混合性能、および熱プロセス制御を実証または評価します。	大型画面表示と統合された制御機能により、動作データを容易に観察できます。

外部熱伝達ループ	提供された外径10 mmのポートを使用して、外部循環の入口と出口を互換性のある実験装置やプロセスフィクスチャに接続します。	内部および外部循環により、さまざまな実験レイアウト全体で装置の有用性が広がります。
----------	---	---

パラメータ	仕様
モデル	JL11
温度範囲	-40～100℃
温度表示分解能	0.01℃
製品に記載の磁気攪拌速度	0～1000 rpm/min
シリーズで説明されている磁気攪拌調整	0～1500 rpm 無段階調整可能
バス容量	10 L
最小反応容器容量	100 mL
バス開口部	180*190 mm
バス深さ	200 mm

パラメータ	仕様
全体寸法 L*W*H	600*430*720 mm
電力	2.2 KW
ポンプ流量	6 L/min
温度センサー	PT100
ディスプレイ	大型LCD
温度制御	PID自動パラメータチューニング付きインテリジェントソフトウェア温度制御
PID調整	媒体に応じた自動チューニング；特殊ユーザー向けの手動パラメータ調整をサポート
温度補正	表示温度と実温度のソフトウェア補正
攪拌システム	底面突出設計の磁気攪拌装置内蔵
冷却システム	完全密閉型コンプレッサー冷凍
冷却保護	過熱および過電流保護
循環モード	内部循環および外部循環
外部循環ポート	外径10 mmの丸管による入口および出口
過熱保護	利用可能
過熱アラーム	ユーザー設定可能なアラーム温度付き音声アラーム
自動保護応答	過熱状態時に負荷を自動遮断可能
タイマー機能	合計動作時間をプリセット可能；時間経過後に負荷を自動遮断
制御ロック	システム設定値のソフトウェアデジタルロック
カスタマイズ	非標準カスタマイズ対応